

記者発表



[提供年月日] 令和8年(2026年) 6月 5日
[所 属] びわ湖芸術文化交流センター／BiWACC
(公益財団法人びわ湖芸術文化財団 地域創造部)
[事業担当] 眞島 majima-mihoko33@biwako-arts.or.jp
[連絡先] Tel.077-523-7146／Fax.077-523-7147

令和8年度しがアートコラボレーション事業 第6回 能楽を楽しむ 「能装束着付実演と能『葵上』」 記者発表のお知らせ

滋賀で能楽・能面文化の伝承に取り組む「滋賀能楽文化を育てる会」と、びわ湖芸術文化交流センター／BiWACCとの協働により、「能装束着付実演と能『葵上』」を開催します。

つきましては、貴メディアを通じて、ぜひとも県民の皆様にご紹介いただきたく、広報のご協力を賜りますようお願いいたします。

「第6回 能楽を楽しむ 能装束着付実演と能『葵上』」概要

開催日時： 令和8年 6月 23日(火)13:15 開演

会 場： 能登川コミュニティセンター
(東近江市躰光寺町 262 番地)

料 金： 一般 2,500 円、22 歳以下 1,000 円
(当日各 200 円増) 全席自由



取材のポイント

① 滋賀にも能楽のルーツが！

近江の地に伝わる 能面の歴史を追い求め

滋賀で能楽文化を伝承します

滋賀県長浜市七条町には、著名な能面作家の家系、近江井関家が残した能面が存在します。

「能といえば京都」と考える方が多いかもしれませんが、滋賀には室町時代より能の前身となる「近江猿楽座」が6座も存在し、日吉座の犬王は能を大成させた観阿弥・世阿弥に影響を与えたといわれています。

この企画は、近江の能楽文化をリサーチし、伝承を目指す「滋賀能楽文化を育てる会」によって企画されています。



② 若い人や、子どもたちにこそ伝えたい

身体に自然となじむ 心地良い「能」のリズムを子どもの頃から

「能は堅苦しくて難しい」そんな風に考える方が多いかもしれませんが、そんなことはありません。

能は、ミュージカルのような歌劇で、心地よい謡(うたい)や囃子(はやし)のリズムにのせて、物語がすすみます。

「滋賀能楽文化を育てる会 能楽を楽しむ」公演では、地元の中学生を招待し、継続的に子どもたちが能を鑑賞する機会をつくれます。

「能のリズムが子どもたちの原風景になったらうれしい」と、滋賀能楽文化を育てる会の伊庭貞一さんが語ります。

はじめての方やお子さまでも
わかりやすい解説付き



関連企画

子どもが能楽を体験する機会も！

夏休みこども能楽(謡・仕舞)体験 概要

【開催日時】

(1)7月26日(日) (2)7月30日(木) (3)8月3日(月) (4)8月7日(金)
(5)8月11日(火・祝) いずれも10時から約1時間半

【会場】 能登川コミュニティセンター・和室

【対象】 小学生～中学生(初心者歓迎) ※保護者同伴可

【講師】 能楽師 観世流シテ方 うらべゆきひろ 浦部幸裕

③ 元滋賀県在住の実力派能楽師 たもい ひろみち 田茂井 廣道が出演

本格的な演目を上演します

「滋賀能楽文化を育てる会」の活動に共感し、出演するのは、元滋賀県在住の能楽師 田茂井 廣道。世阿弥が整えた曲とされる『葵上』という演目を上演します。

『源氏物語』の主人公である光源氏の正妻となった葵上と、光源氏の愛を失った六条御息所との愛の確執を題材にした演目で、不気味さの中にも気品が漂う激しい舞、それを盛り上げる地謡・囃子が大きな魅力です。

記者会見 登壇者プロフィール

【能楽師 たもい ひろみち 田茂井 廣道】

1970年生まれ。田茂井廣和の長男。幼少期より河村晴夫、長じて13世林喜右衛門に師事。3歳で初舞台。現在までに「石橋」「乱」「道成寺」「望月」を抜く。2005年度より京都芸術センター主催の素謡の会のナビゲーターを勤める。海外公演の参加多数あり。子供から大人向まで、様々な世代へのレクチャーを行なうなど、多方面から能楽の普及に努めている。



【能面作家 いば ていいち 伊庭 貞一（滋賀能楽文化を育てる会・副会長）】

1951年滋賀県大津市生まれ。会社勤めを辞め、木に携わる仕事をしたいという夢や、20代の時に禅の修行を通し、まだまだ世襲の仕事とされていた能面作りの世界に飛び込む。近江能面彫刻同好会にて、能面打ちを習い、その後、能面の繊細な表現が定評の能面師 中村光江氏に師事。現在は独立し、滋賀県をベースに関東にも能面教室を持つ。



「しがアートコラボレーション事業」について

びわ湖芸術文化交流センター／BiWACCでは、県内の文化ホールや文化団体と協働し、「しがアートコラボレーション事業」を実施することで、地域の多様な文化芸術創造・鑑賞活動の支援を行っています！

部門名	概要	令和8年度 採択・実施数
ホールプロデュース部門	県内文化ホールが対象。舞台芸術を上演するだけでなく、地域に開かれた創作活動の現場としてより一層盛り上がるよう協働で事業に取り組む。	1件
アートコーディネーター部門	県内に活動の拠点を置くアートNPOや文化団体、文化芸術活動を行う個人を対象。 県内で創作および公開発表を行う事業に取り組む。	9件

「びわ湖芸術文化交流センター BiWACC(ビワック)」とは

びわ湖芸術文化交流センター(Biwako Arts & Communication Center / BiWACC)は、公益財団法人びわ湖芸術文化財団地域創造部の愛称です。地域の芸術文化活動のパートナーとして、人とひと、地域と芸術をつなぎ、だれもがわくわくするような滋賀をめざして交流と創造の場を育んでいきます。



びわ湖芸術文化交流センター BiWACCの詳細はこちらのウェブサイトをご覧ください。
<https://biwacc.jp/>

主催：びわ湖芸術文化交流センター／BiWACC(公益財団法人びわ湖芸術文化財団 地域創造部)、
滋賀能楽文化を育てる会

※この事業は、令和8年度しがアートコラボレーション事業の採択事業として、びわ湖芸術文化交流センターと滋賀能楽文化を育てる会が協働して実施しています。

Web サイト: <https://event.biwacc.jp/event/36738/>